



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL <https://www.gunei-chemical.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員管理本部長(氏名)湯浅 快哉 (TEL)027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,325	△6.2	463	△16.3	516	△12.9	318	△13.0
2020年3月期第1四半期	6,746	△1.2	554	12.4	593	16.8	365	4.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 369百万円 (△6.5%) 2020年3月期第1四半期 395百万円 (75.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	47.70	—
2020年3月期第1四半期	52.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	49,057	41,785	82.2
2020年3月期	50,626	42,020	79.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 40,347百万円 2020年3月期 40,418百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難な状況が続いているため未定とさせていただきます。なお、業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	8,998,308株	2020年3月期	8,998,308株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,369,190株	2020年3月期	2,277,870株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	6,673,390株	2020年3月期1Q	6,929,095株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の低迷等により急速に悪化しました。また、今後の国内外の感染症拡大の動向については長期化が懸念されており、先行きは極めて不透明な状況となっております。

このような環境下において、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業活動が制限されるなか、IT技術を活用した働き方改革や業務改善に積極的に取り組むと同時に、市場、顧客ニーズの探索に注力し、これまで培ってきた当社グループの技術を活かした提案型営業活動の強化に努めるなど、更なる事業基盤の強化を図ってまいりました。

化学品事業においては、電子材料向け樹脂は、世界的なテレワークの拡大により、液晶向け及び半導体向け製品が堅調に推移しました。一方、その他用途向けは総じて新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、建築関連向け樹脂は、住宅着工件数の減少や建設工事の延期や中止等により低調に推移しました。また、自動車関連向け樹脂及び建設機械向け樹脂についても、顧客の稼働率低下の影響を受け低調に推移しました。以上の結果、化学品事業は減収となりました。

食品事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受け、外出の自粛及び各種イベントの中止に伴う、いわゆる「巣ごもり消費」の増加により酒類向け製品が増加しましたが、清涼飲料向け製品が低調に推移するなどした結果、減収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比6.2%減少の6,325百万円となりました。

利益面では、売上高の減少等により、営業利益は前年同期比16.3%減少の463百万円、経常利益は前年同期比12.9%減少の516百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比13.0%減少の318百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ1,569百万円減少し、49,057百万円となりました。これは、主に設備関係未払金、税金及び配当金の支払い等により現預金が減少したこと及び売上高の減少により売上債権が減少したことによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,333百万円減少し、7,271百万円となりました。これは、主に売上高の減少により仕入債務が減少したこと及び前連結会計年度の設備投資に伴う設備関係未払金が当連結会計年度に決済されたことにより減少したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ235百万円減少し、41,785百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、自己株式の取得により株主資本が減少したこと及び為替レートの変動により為替換算調整勘定が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが困難な状態が続いております。現時点では緊急事態宣言が解除され、段階的な経済活動再開の動きがみられるものの、足元では新規感染者数が増加傾向にあり、依然として先行きは不透明な状況となっております。

このような状況を踏まえ、2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による不確実性が極めて高い状況となっており、現時点では当社グループの業績予想の合理的見積りが困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

また、2021年3月期の配当予想につきましても、業績予想を見通すことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。業績予想の公表が可能となった段階で、配当予想についても公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,400	6,203
受取手形及び売掛金	7,532	7,133
有価証券	3,199	2,699
商品及び製品	2,266	2,262
仕掛品	679	667
原材料及び貯蔵品	1,133	1,256
その他	231	160
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	21,440	20,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,864	22,810
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,258	△16,321
建物及び構築物(純額)	6,606	6,489
機械装置及び運搬具	32,701	32,443
減価償却累計額及び減損損失累計額	△28,918	△28,913
機械装置及び運搬具(純額)	3,782	3,529
土地	7,969	7,969
リース資産	185	198
減価償却累計額及び減損損失累計額	△95	△101
リース資産(純額)	90	96
建設仮勘定	34	95
その他	3,113	3,073
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,640	△2,624
その他(純額)	473	449
有形固定資産合計	18,956	18,630
無形固定資産		
のれん	481	444
その他	71	67
無形固定資産合計	552	511
投資その他の資産		
投資有価証券	8,185	8,248
その他	1,566	1,361
貸倒引当金	△75	△74
投資その他の資産合計	9,677	9,534
固定資産合計	29,185	28,676
資産合計	50,626	49,057

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,603	3,226
1年内返済予定の長期借入金	450	300
未払金	1,610	915
未払法人税等	295	92
賞与引当金	339	193
その他	114	352
流動負債合計	6,413	5,080
固定負債		
環境対策引当金	7	7
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	1,543	1,539
その他	619	621
固定負債合計	2,192	2,191
負債合計	8,605	7,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,690
利益剰余金	14,934	14,974
自己株式	△5,975	△6,225
株主資本合計	39,649	39,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	893
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	217	15
退職給付に係る調整累計額	△2	0
その他の包括利益累計額合計	769	909
非支配株主持分	1,601	1,437
純資産合計	42,020	41,785
負債純資産合計	50,626	49,057

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,746	6,325
売上原価	5,273	4,908
売上総利益	1,472	1,416
販売費及び一般管理費	918	952
営業利益	554	463
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	17	18
為替差益	—	15
その他	16	7
営業外収益合計	48	53
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	5	—
その他	3	0
営業外費用合計	9	1
経常利益	593	516
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	39	2
特別損失合計	39	2
税金等調整前四半期純利益	553	514
法人税、住民税及び事業税	57	71
法人税等調整額	83	77
法人税等合計	141	149
四半期純利益	412	365
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	365	318

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	412	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105	336
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	82	△334
退職給付に係る調整額	5	2
その他の包括利益合計	△17	4
四半期包括利益	395	369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	314	457
非支配株主に係る四半期包括利益	80	△88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、商品及び製品等の販売について、従来は出荷時に収益を認識しておりましたが、着荷時に収益を認識する方法に変更しております。また、代理人として行われる取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、純額で収益を認識する方法に変更しております。さらに、買戻し契約に該当する有償支給取引については、従来は支給先から受け取る対価を収益として認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高が92百万円減少し、売上原価は86百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ6百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は9百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,335	1,349	61	6,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,335	1,349	61	6,746
セグメント利益又は損失(△)	522	△9	41	554

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,075	1,188	61	6,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,075	1,188	61	6,325
セグメント利益又は損失(△)	443	△22	42	463

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「化学品事業」の売上高が92百万円減少、セグメント利益が6百万円減少し、「食品事業」の売上高が0百万円増加、セグメント利益が0百万円増加しております。